

<検討項目>資源循環の推進（第4章）の施策について

- ① 第6期計画における資源循環の推進（4R）に関する取組の表現方法
- ② 3R＋リプレイス（4R）の推進
- ③ 循環経済への移行の推進
- ④ 食品ロス削減の推進

区 分	発 言 等
① 4 R の名称	・ 県内市町村においても4Rを掲げて事業推進しているところが少なからずあるのではないかと。 ・ （従来の3Rから）さらに広げていく、加速させていくという意味で4Rの方が良いのではないかと。 ・ 循環型社会を目指すための3Rとリプレイスを一緒にすることは若干違うのではないかと。 ・ 4Rについての浸透度を分析し示すことも必要ではないかと。
② 4 R の推進	・ リデュースの節に空き家活用が新たに盛り込まれた。人口減少対策、リユースにも繋がる幅広い取組と考えられるため強調してもらいたい。 ・ 空き家の有効活用は、リデュースというよりもリユースに繋がる。今回の計画で強調してほしい。 ・ 信州リサイクル製品を作っても販売に至っていない製品もあるため、県としてアピールしてほしい。 ・ リペア推進の観点から「リペアカフェ※」の記載を。 ※地域の公共スペースなどを利用して定期的に開かれる修理の場所 ・ 豊かさが失われつつある中、リプレイスは経済循環にも繋がる重要な取組である。 ・ リプレイスの内容が中々理解しづらいため、県民がどのようなことをすればリプレイスに繋がるのかというのを具体的に示していく必要がある。 ・ 全市町村が一体となって進められるように配慮いただきたい。 ・ 長野県のSDGs推進企業登録制度は全国的にも自慢できる事業である。

第2回廃棄物専門委員会における委員の主な発言等

区 分	発 言 等
③循環経済 (サーキュラーエコノミー)	・ 「循環経済は儲かる」ということを強調してもらいたい。 ・ 人口減少等シュリンクエコノミーの中、経済を回すために必要なのがサーキュラリティである。 ・ 資源循環させていくためには何でもやってよいということではない。気候変動、環境汚染にならないことが大前提。 ・ サーキュラーエコノミーを推進している企業を顕彰したり、PRをしたらどうか。 ・ 公共発注の際、サーキュラーエコノミー製品を優先して発注することを仕様書に明記したらどうか。 ・ リペアは身近なところで行える。重点的に推進してもらいたい。 ・ 循環経済の基本として、分別回収を徹底することがある。小中学生への教育を。 ・ 小中学生への教育の中に組み込んでいくようなメッセージを入れてもらいたい。
④食品ロス削減	・ 量販店では、AIを活用した需要予測・発注をする企業もあり、食品ロスは減ってきている。 ・ 市町村単独では食品残渣の効率的な収集は難しく、広域的な取組が効果が高いと考えられる。今後の展開によっては協力支援をしていただきたい。 ・ 事業系の食品廃棄物を回収する仕組みを検討したらどうか。県が旗振りをしてほしい。 ・ 市町村では生ごみを集めた後の受け皿を作っていくのが大変。 ・ 県民の協力が必要。分かりやすい広報を。